



昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方

風しん抗体検査は受けましたか？

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、風しんの予防接種を公的に受ける機会がなかったため、風しんにかかりやすく、周囲の人たちに広めてしまう可能性があります。そこで、厚生労働省の「風しんの追加的対策」として、令和元年～3年度までの3年計画で、抗体検査および風しん予防接種(検査の結果、必要な方のみ)を実施してきましたが、抗体検査の実施率が低い※ため、令和4年度以降も事業が継続になっています。

次代を担う子どものため、妊婦に感染させないため、風しんの流行を防ぐことが必要です。風しんの流行を防ぐためには、より多くの方に抗体検査を受けていただき、必要な方が予防接種を受けることが大切になります。対象となる方はぜひご検討をお願いします。

※抗体検査実施率：国…26.9%(令和4年5月時点) 牛久市…38.8%(令和4年8月時点)



風しんに かかると…

風しんは感染後2～3週間の潜伏期間の後、発熱・発疹・リンパ節の腫れなどの症状が出ます。症状は、不顕性感染(無症状)から脳炎や血小板減少紫斑病(出血しやすく止まりにくい)など重い合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛がひどいことが多く、小児より重症化することがあります。中には、1週間以上仕事を休まなければならなかったケースもあります。

また、妊娠初期の女性に感染させてしまうと、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害(先天性風しん症候群)が出ることもあり、その確率は、妊娠1カ月でかかった場合50%、妊娠2カ月の場合は35%と言われています。2012～2013年にも風しんの流行がありましたが、その際には国内で「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが45人確認され、うち11人は生後1年3カ月までに亡くなっています。妊娠中の女性は予防接種を受けられないため、風しんにかからないよう注意していただくとともに、周りの人も感染しないよう予防が必要です。

検査および予防接種の流れ

1

検査場所を決め、 予約をとる

検査場所は下記のいずれかを選択。
◆職場健診や人間ドックと同時に受ける
◆医療機関で受ける

2

検査を受ける (血液検査)

検査当日はクーポン券(令和4年3月に送付済)と身分証をご持参ください。

3

予防接種を受ける (麻しん風しん混合ワクチン)

※検査の結果、抗体価が低かった方のみ接種となります。接種の際はクーポン券と身分証をご持参ください。

こんなにお得!

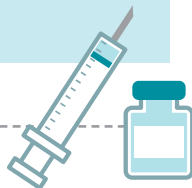
**抗体検査も予防接種も
無料で受けられます!**

自費で受けると…

【抗体検査】→約1,500円～7,500円

※検査方法・検査機関・検査時間によって差があります。

【麻しん風しん予防接種】→約10,000円



市内抗体検査・予防接種実施医療機関や、検査、予防接種の受け方など詳細については市ホームページをご覧ください▶

